

令和４年度 第２回飛騨市総合政策審議会 議事録

【日 時】 令和４年 10 月 24 日（月） 13 時 00 分～16 時 00 分

【場 所】 飛騨市役所 西庁舎 3 階 大会議室

【出席委員】 18 名中 14 名

【執行部等】 都竹市長 湯之下副市長 沖畑教育長 齋藤会計管理者 谷尻総務部長
藤井市民福祉部長 横山環境水道部長 野村農林部長 畑上商工観光部長
森基盤整備部長 中畑消防長 佐藤病院事務局長 野村教育委員会事務局長
岡田議会事務局長 大庭河合振興事務所長 尾賀宮川振興事務所次長 三井神岡振興
事務所長 上畑財政課長
(18 名)

【事 務 局】 森田企画部長 田中総合政策課長 土田課長補佐 井口主査 上手主任（5 名）

【傍 聴 者】 4 名

【会 次 第】 1. 開会

2. 市長挨拶

3. 会長挨拶

4. 協議事項

①令和４年度 9 月議会で予算議決済みの施策について …… 資料①②

②令和５年度の施策（案）について …… 資料③④

③自由討議

5. その他

今後のスケジュールについて …… 資料⑤

6. 閉会

【議事内容】

1. 開会【森田企画部長】

令和４年度第２回飛騨市総合政策審議会を開催する。

本日は４名がご都合により欠席であるが、委員 18 名中過半数の出席により、飛騨市総合政策審議会設置条例第 6 条の規定により定足数に達していることを報告する。

2. 市長挨拶【都竹市長】

今年度第２回となる総合政策審議会にお集まりをいただき感謝申し上げます。

この２回目の会議は、10 月より行っている政策協議で様々な議論を行っている中で、皆様の提案を反映させていただくのが一番いいタイミングであるので、ぜひ活発なご提案をいただき、来年度の事業の中に盛り込んでいけるものを検討していきたいと考えている。

最近の状況を話させていただくが、コロナについては、飛騨市の直近一週間の平均 1 日感染者数は 1

日当たり 4.9 人となっている。9 人を超えると警報級としている中で、ワクチン接種も進んでおりこの秋はこの流れが続くと思っている。ただし、例年 1 月頃より大きな波が来ることが警戒されるが、政府としては社会経済活動を止めない方針としており、コロナの扱いも徐々に変わってきていると感じる。ただ、市としてはそうした中でも医療・福祉・介護・障がいなどの重症化死亡リスクが高い方が多い施設に関しては、従来通りの厳しい対策を講じていきたいと考えている。

物価高騰については、電気代等の引き上げや資材、原材料など随所に影響が出る形となっている。政府からも交付金をいただき追加の経済対策を打ったところであるが、現在、さらなる追加対策の議論を進めているところである。市の方針としては、すべてを支援して影響を軽減させることは難しい中で、価格転嫁が難しい業界や年金生活世帯など個人での対策が難しいところを優先して支援していくという考え方で対策を進めている。そして、長期化により先が見えない中でも、2 週間に一度対策会議を開きながら現場の状況を把握し、対策を進めていきたいと考えている。

いずれにしても本日の審議会、活発なご意見を期待し、私からご挨拶とさせていただく。

3. 会長挨拶【会長】

先ほど市長よりコロナの話があったが、コロナへの対応方法が変わってきて、まさにウィズコロナの時代になってきたと感じる。私自身ここ 2 年間オンラインだったものが、出張が増えたことで実際に顔を合わせる機会が増え、対話することの大切さを改めて実感したところである。飛騨市でも新そば祭りが 3 年ぶりに開催されるとのことで、学生と一緒にお手伝いで参加させていただくが、飛騨の人たちと触れ合う中で学生たちにとっても様々な学びがあるので、その際はまたお世話になる。本日の審議会も、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思っているのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

4. 協議事項

司会【会長】

【会長】 協議事項①令和 4 年度 9 月議会で予算議決済みの施策について事務局の説明を求める。

【土田補佐】 協議事項①について説明。(資料①②)

【会長】 協議事項①について、ご意見ご質問をいただきたい。

【A 委員】 物価高騰により建設費等の高騰があった場合の見直しの説明があったが、区から市へ工事等を申請した場合に工事費の受益者負担があると思うが、工事費高騰により受益者負担の金額が増えた場合に区に対する特別措置などは考えているか。

【森部長】 受益者負担は工事費から割合で徴収させていただいており、基本的にその割合は決まっているが、受益者負担分が上がらないような工事費の調整を今は考えている。受益者負担分が上がった場合の支援についてはまだ考えていない。

- 【A委員】 今受注してある工事については、物価高騰などの影響で工事費が上がった場合でも受益者負担が上がることはないとの認識でよろしいか。
- 【森部長】 現状、物価高騰によって工事費が上がるものではなく、そうした事案が発生した場合は個別に各区長や組合長に相談させていただきながら進めていきたい。
- 【会長】 協議事項②令和5年度の施策（案）について、事務局の説明を求める。
- 【土田補佐】 協議事項②について説明。（資料③④）
- 【会長】 協議事項②について、ご意見ご質問をいただきたい。
- 【J委員】 新規就農者の支援拡大として新規就農者用トマト団地整備の検討と書いてあるが、詳細が分かれば伺いたい。
- 【野村部長】 新規就農者は市外から就農される方が多く、研修後に土地を確保して農業を始める時に、その土地の土壌改良や資材など様々なことが必要になるので、そういった支援も含め総合的に検討していきたいと考えている。
- 【J委員】 具体的な土地の場所などはまだ考えていないか。
- 【野村部長】 来年度に向けての候補地は高野の地域を考えている。
- 【K委員】 アウトソーシングの推進による業務効率化として、地籍調査の工程管理、検査等含めた包括外部委託とあるが、詳細を伺いたい。
- 【野村部長】 現在は民間事業者の方に測量などを中心に行っているが、地元との調整やデジタル化の部分など様々なものを含めて外部に委託したいと考えている。具体的には新たな技術の導入も含め事業者の方と検討していきたい。
- 【K委員】 再生可能エネルギーの活用として、小水力発電を推進することはいいことだと思うが、森林組合にバイオマス発電やバイオマスボイラーで木材チップを活用するという話がある。県内のある事業者は大きなバイオマス発電施設を作ろうとしているが、チップの7割は外材であるのに対し、今輸入はゼロであり、稼働するのはこれから先も難しいだろうと危惧している。
- 【森田部長】 チップによるバイオマス発電の話が出始めた時から森林組合様からお話を聞かせていただき、市も同様の認識を持っている。再生可能エネルギーの活用については、市内で小水力発電が盛んに行われており、そこをメインに進めていきたいと考えているが、現在は太陽光や水素の利活用の話もよく聞くようになった。外部の専門的な知見を加えながら、この地域に最適な再生可能エネルギーの導入を検討し、脱炭素を目指していきたいと考えている。

- 【I 委員】 職員のスキルアップと体制強化として、自治体との職員人事交流とあるが、他の市役所に行っても同じ役所の仕事なのであまり意味がないのではないかと。異業種との人事交流をぜひお願いしたい。来年度の事業案に国内販路開拓の本格展開とあるが、いつもはイベントを実施してそこで終了している。商業者としてはイベント参加に投資して、結果として売上や利益がどうなったかが大事。例えば大手通販企業の方を招いて飛騨市から全国に商品を売ってもらうなど、具体的に検討をお願いしたい。
- 【都竹市長】 人事交流に関して、比較的若い職員に違う組織の中で様々な経験をさせたいという思いでこれまで色々試してきた。現在は一般財団法人地域活性化センターへ職員派遣し、各地域のいろんな地域づくりの事例を学んでもらったり、数年前には飛騨信用組合と人事交流をするなど様々な交流を図っている中で、今回は自治体同士の人事交流をしたいと考えている。民間企業への派遣についても商売を実際の現場で体感することは大事な事だと思っているので考えていきたいが、一方通行の派遣は余力がなく難しいところもあるので、代わりに社員を派遣いただいてこちらからも職員を出す交流が前提となる。こうした条件の中でできる交流を模索していきたい。
- 【G 委員】 長期間利活用が全くされてない観光系小規模市有施設の解体とあるが、具体的な内容を伺いたい。
- 【谷尻部長】 具体的な施設名は挙げられないが、キャンプ場の古い倉庫やそれに類似した施設などを検討している。

～ 休憩 ～

- 【会長】 会議を再開し、ここで委員の皆様から市に取り組んでほしい分野、事業、課題など、普段の生活でお困りのことも含め、会の代表のお立場でも一個人としても結構でするので、お一人ずつご意見を頂戴したい。
- 【A 委員】 子供の遊び場として杉崎公園の整備に感謝申し上げる。オープン初日という事もあるが、来客数が多く駐車に時間がかかったので駐車スペースの拡大を検討いただければと思う。また、以前は木の遊具が多かったが、今回鉄の遊具となっているので、公園に広葉樹を植樹し、子ども達が木に触れる機会を増やしていただくこともご検討いただきたい。
- 古川町の市内から駅東に抜けていく道路が狭かったり、屈折していたりするので、改良いただくことも検討いただきたい。
- 空き家に小動物が住み着いていることがあり、野生動物に噛まれたりする被害も出る可能性もあるので何か対策をとっていただくことはできないか。
- 【B 委員】 国道 360 号の桑野の踏切付近、接骨院旧道地下道のあたりで交通量が増えている。

信号設置は難しいと思うが、ミラー等の設置を検討いただきたい。

【C委員】

まちなかの除雪に関して、早朝から除雪機で除雪いただきありがたく思っているが、除雪機が通った後に雪が歩道側で山のように連なった状態となる。その雪は各自で側溝に流すなどの処理をしているが、自力で除雪ができずシルバー人材センターに依頼していた方から、シルバーより次年度以降は辞めたいと申し出があり、どうしたらいいかという相談があった。近所の高齢者の家や空き家はこれまでも厚意で除雪しているが、そうした家が増えていくとさらに大変さが増す。道も通学路となっているため除雪しないと危険であり、このあたり今後どうしたらよいかご相談させていただきたい。

市街地の空き地の利用方法について、一昨年、船津火災跡地に住宅ができる話を聞いた。今後市街地の空洞化を避ける意味でも空き地への住宅政策の展開をお願いしたい。

【D委員】

ワクチンに関して、国から助成のある新型コロナや小児中心の定期接種などのほかに任意の予防接種があり、そうしたワクチン対して飛騨市は他市と比べても手厚い助成をいただいている。このことを市民の方々にもっと知っていただけるようアピールしていただけるとよい。

11月の前半に、糖尿病週間として神岡城のブルーライトアップとハツ三館にお願いし、糖尿病予防のミニ懷石の提供を行う。市のPRにもつながると思うので、周知のご協力をお願いしたい。

安峰山の入口がわかりにくい。案内サインなどを立てていただくことも検討いただきたい。

物価高騰の支援について、国からの交付金を活用し、市民全体に対する電気代や燃料代の支援を検討いただきたい。

【E委員】

コロナによりオンラインの会議や研修が一般的となり、ありがたい面もあるが、直接顔を合わせて話す機会が減ったことで、研修の休憩時間などに情報交換や悩みの共有ができなくなり、残念といった話も聞く。

現在定年が60歳から65歳に、或いは65歳から70歳まで雇用を延長する流れとなっている。非常にいいことだと思うが、フルタイムで働く高齢の方が増えたことで第一線を退いた方などに短時間勤務としてお願いしていたデイサービスなどの運転手を探すのに苦労している。また、最低賃金が10月に上がり、あわせて社会保険も対象が拡大されたことから企業側の負担も増えており、少しずつ厳しさが増している。

コロナに関して、世間的には交流の機会が増えている中、医療や福祉の分野は非常に慎重にならざるを得ない部分があり、職員には我慢をしてもらっている。どのタイミングで制限を緩和させていくかは状況を見極めながらとなるが、利用者の家族

との面会や交流も含め制限をなんとか解消できるよう考えていきたいと思っている。

外国人が数名、我々の法人に働いていただいております、その方々は車を持っていないので休みの日に買い物をしたいと思ったときに、高山方面はバスがあるのでいいが、富山方面のアクセスが悪く不便だと感じた。本数を増やすのは厳しいと思うが、JRからの乗り換えの接続を検討いただきたい。

山之村だいこんマラソンがコロナの後中止が続いている。人口減少や高齢化により継続が困難といった話も聞いているが、だいこんマラソンは非常に特色のある大会で全国各地から参加者が来ていただいていた大会でもあるので、なんとか再開し、残していけるよう支援などご検討いただきたい。

【F 委員】 防災士会が発足して3年が経過した。地区によって防災の考え方や状況にも違いがある中で、防災士会としてはさらに地元に密着した活動をしていくために、来年度より各町に支部組織を設置するよう危機管理課のご協力を得ながら進めている。来年度以降も防災士講座を実施し、会員も今後増加していくと思うので引き続きご支援の程よろしく願います。

【G 委員】 node サロンとして市長に使っていただき感謝申し上げます。SNSでも周知したところ反響もあり、node の活用の幅が広がったと思う。色々な方に node を使っている中でよく聞くのが駐車場の問題。現在は市役所や若宮駐車場を案内しているが、冬になると移動が大変だったり、市役所の駐車場が満車のことも多い。JAの駐車場を活用できないか。

まちづくり活動に関して、小さなまちづくり応援事業をお手伝いしている中で、今年度よりクラウドファンディングの支援という形となり、勉強会の実施など準備を進めてきたが、使われる方が少なかったり、使ってもお金の集まりが良くない。話を聞くとクラウドファンディングに力を入れることで本来の活動に力を割けなくなるため、お金は自分たちで何とかするということがあまり利用が進んでいないのが現状。クラウドファンディングに切り替えた意図は十分理解しているうえではあるが、実態として活用がなかなか難しいという声が上がっていることは共有させていただく。

先日、飛騨市民病院の先生を講師に社会的処方勉強会を実施した。社会的処方というのは特に理由がはっきりせず体調が悪い方に対して地域の活動やサービスなど社会参加の機会を処方する考え方で、飛騨市には多くのまちづくり活動がある中で、すでに処方できる薬（活動）がたくさんあると思った。福祉・医療分野はハードルが高くこれまで踏み込んでこなかったが、話を聞く中で広げていける素地がありそうだと感じた。まちづくりの次のステップとして考えられるのかもしれない。

【H 委員】 中小企業庁の小規模事業者の持続発展を支援する体制整備について、飛騨市の経済

振興の発展を全体的に強化していくためにもご支援等いただきたい。

コロナに関連して、貸付の据え置き期間が終了して元本返済が始まるが、追加の支援や条件変更を求める声が非常に多く出てきている。会議所としても寄り添った支援をしていくが、市としてもご支援、ご協力をお願いしたい。

プレミアム商品券について、購入割合は 50%未満と聞いている。残った券を廃棄するのはもったいないと思い、11 月に開催されるぶり・ノーベルウォークのイベント会場が神岡となっているため、参加者に 1 枚プレゼントしたいと考えているが、ご意見いただきたい。

飛騨製品の販売促進について、現在は特に東海地方に P R をしている中で、北陸圏への販路拡大に対する支援、対策にもぜひご協力いただきたい。

今年の獅子まつりに代わって神岡城にて開催されたオクトーバーフェストが大変賑わい、評判も良かった。来年もこういった取り組みをぜひ進めてほしいといった話をたくさん聞いたのでこの場でお伝えさせていただく。

先般、経済連合会の事業で中部経産局による政策説明会があった。非常に参考となる話で、プロジェクターを見て説明を受けるのは非常に分かりやすかったが、手元の資料が経費削減の関係上縮小してあったため見にくかった。次回開催時は資料の見やすさにもご配慮いただきたい。また、電子化も考えていただきたい。

【 I 委員】

9 月の消費者物価指数が 3 % の上昇となった。10 月より職員の賃上げもあったが、この消費者物価指数に円安の影響がまだ加味されていない。来年の 4 月には相当な物価上昇が来ることが予想される。企業も内部留保ができている会社はいいが、できていない会社は賃上げができず、人も集まらないため淘汰されていくという厳しい状況になると思われる。幅広く低所得者から高所得者までより力強い物価対策とコロナ融資の返済が始まるので市内企業の動きの注視、そして、若手の育成の観点からも 18 歳まで医療費の無料化を何とかお願いしたい。

【 J 委員】

物価高騰などにより農業についても、資材や肥料、運賃などが値上がりしており、かつ、農産物の値上がりはほとんど見込めないといった状況で、農家も苦しんでいる。飛騨市より様々な支援をいただいております、今後も更なる幅広い支援を継続してお願いしたい。

収穫の時期が終わり、これから販売反省会や総会を行っていく中で、現状はコロナもかなり落ち着いているが、今後拡大した中でそうした集まりをやってもいいのか悩んでいる。また、直会についても、コミュニケーションをとる手段として、飲み会形式でやりたいと考えているが、その辺りどのような考え方をしたらよいかわからない。

10 月 15、16 日行われた食と森の祭典に農産物の出展で参加させていただいた。まつり広場の会場は人通りが多かったが、円光寺の会場は人通りが少なかった。来年

度は円光寺の会場にも人が集まるような工夫をお願いしたい。

【K委員】

最近森林組合への視察や講師依頼が非常に多く、本業以外の部分で大変忙しい状況。地元からの求職者はいないが、県外から多くの求職者がおり、今年も県外からの新卒者を採用している。来年度の採用活動をする中で、就職希望者の森林業に対する理解が足りていないと感じた。今年度はフォレストスクールの開校など、森林技術者の確保に向けた取り組みをしていただいている中で、特に動画の制作に関しては、林業の仕事の様子が分かりやすく、魅力的に伝わるようなものを制作いただきたい。移住者支援について、市の移住者支援制度が使い勝手が悪いと聞いている。その辺りを企業に聞き取りしていただき、使い勝手のいいものにしていただきたい。先日名古屋グランパスの方とお会いし、飛騨市のPRをトヨタドームで定期的にやらないかという話が出たので、具体的に話が出たら市に連絡させていただく。

【L委員】

コロナ融資に関して、現状は前回と変わらず返済開始により返していけないといった状況はないと認識しているが、今後の物価高騰に対応する融資がないというのが懸念されている。

また、最近個人でも自己破産等の通知が来ている。預金も余力があり普通の生活をされていた方でも。コロナ禍で審査が二の次になり、出すことが先決になっていたため、現在もコロナの状況が回復していないことが破産の選択に繋がった一因かと考えている。奈良県では約半数が返済できないとして申請が出ているという状況の中、岐阜地区はまだ少ない方ではあるが、これから申請が増えてくる可能性があり、事業者に限らず個人でもひっ迫する状況が来年再来年に来るのではと思っている。このあたりは他行の状況が分からないので全体像を見ながら相談窓口を設けることが必要だと思っている。

来年度事業案の資料の中に空き家の賃貸物件の改修支援の上限の拡大とあったが、今物価もあがっており 300 万円ではリフォームも厳しく、水周りの改修くらいしかできないと思うので、その辺りも見据えて上限の拡大をお願いしたい。

住むとこネットについて、借家の物件数がやはり少ないと思っている。また、掲載されている物件の中に、知らない間に物件の価格が下がっていることがあったので、価格改定されたことが閲覧者に伝わるようにしてもらえるといい。

【M委員】

コロナに関して、9月下旬頃まではコロナに感染した場合に生命保険がおりて仕事を休んで給料が減ってしまっても補填があったため助かっていたが、現在は保険が出なくなり、収入が減ってしまうと不安視しておられる方がおられた。また、コロナ禍でこれまで以上に外に出ない高齢者も増えており、家庭内で様々な問題が発生しているといった話もきく。飛騨市では高齢者の見守りサポートにも取り組んでいるが、そういったことを未然に防ぐ取り組みの必要性を感じている。一つの例として、引きこもりの就労支援などを行っている地域若者サポートステーション

ョンがあるが、就労がうまくいかないと家庭内でも問題が発生といった事案にもつながりかねないので、そういったところとも連携しながら情報のアンテナを張っていただければと思う。

先ほど別の委員から話のあった杉崎公園の駐車場の確保に関連して、杉崎グラウンドでサッカー大会がある時も混雑し、公園で子どもが遊びづらくなるので対処をお願いしたい。

現在千代の松原の再整備を計画されているとのことだが、あの場所は景観もいいので、子どもだけでなくあらゆる世代が活用できる場として健康づくりに資する器具などの設置もご検討いただきたい。

【会長】 ご欠席の方からもご意見が届いているので、事務局より紹介をお願いします。

【土田補佐】 本日ご欠席のN委員よりいただいた意見を紹介させていただく。
一つ目、前回学校の特別教室へのクーラーの設置をお願いしたところ、早速動いていただき深く感謝申し上げます。
二つ目、スポーツ学童の事業について 11 月頃より動き出すと聞いているが、以前の説明では 6～7 月頃より動き出すとのことだった。半年ほど遅れてしまった原因があれば伺いたい。
この 2 点、ご意見をいただいている。

【会長】 市長からご意見を伺う。

【都竹市長】 A 委員のお話で、杉崎公園の駐車スペースについては、今整地をして拡大する調整を進めている。また、イベント時はファミリーマートの向かいにある国交省の駐車場から公園までが近いため、そこをお借りして効率的に使えるようにしていきたいと考えている。遊具については、木製は維持管理が難しくコストもかかるため、鉄製のものにさせていただいたが、ご提案いただいた広葉樹の植樹はいいことだと思うので早速検討する。

古川駅東に抜ける道路は確かでない。現在太江杉崎バイパスの改良を行っている中で、最大の問題は踏切であり、拡張場所を増やすのは至難の業。特にまちなかはある程度道が確立されているため、かなり難しい問題であることをご承知おきいただきたい。

小動物対策について、子どもが噛まれると危ないという点は子ども側で対策していただくしかないというのが正直なところ。ただ、空き家に動物が巣くうところについては、区から相談をいただきながら、危害を及ぼす事態などがあれば市としても空き家の緊急安全措置として対応していきたい。

B 委員からのお話で、国道 360 号ですれ違いが狭く危ないところがあることは承知している。称宜ヶ沢上トンネルができるまでまだ 10 年程度はかかるので、古川土木

とよく相談し、安全対策強化のお願いをしていきたい。

C委員のお話で、除雪・排雪については難しい問題であり、現在、除雪サポーター制度を設けて手押しの除雪機などで除雪いただける方に対する支援をしているが、今の高齢化の中で若い方も少なくなっている状況ではこうした対処療法で進んでいくしかないのが実情。

市街地の空洞化対策について、市街地はどうしても駐車場がなかったりして居住を誘導するのが簡単ではない状況。大きな空き地ができた場合に住める場所を整備するのは基本だと思っているが、問題はアパート経営などをやってくれる事業者がなかなか見つからない。事業者に共同住宅を作っていただけるような誘導策も考えているところではあるが、なかなか決定打にならないのが現状。ここについては不動産業者とも話し合いながら策を考えていきたい。

D委員のお話で、確かにワクチン助成は近隣市に比べてもかなり手厚くやっている。他自治体と比較し、飛騨市の取り組みで優位性があるものは大いにPRしていきたい。

糖尿病対策として様々な取り組みを行っていただき感謝申し上げる。市としても健康づくりの取り組みとしてスマートミールの認証店の拡大など、飛騨市に食べに来ていただけるような魅力づくりにも一層力を入れていきたい。また、八ツ三館で実施いただく糖尿病予防の健康食についても、横展開を含め検討していきたい。

安峰山について、今年度駐車スペースの確保の取り組みは行っているが、確かに入るところの分かりやすさはもう一工夫いると思っている。神原峠のところから入っていくコースになると思うが、改めて点検し、わかりやすい案内ができるようにしたい。

物価高騰対策について、国から大きな額の交付金が配分され、11月に更なる追加の対策を打とうと考えている。ただ、市民全員に丁寧に配布となると数千円配って終わりになってしまうので、価格転嫁が難しい業種や燃料や電気代の高騰を引き受けざるを得ない業種、その中でもさらに弱いところを見極めながら重点的に対策を打っていくことを基本的な考え方としているので、そのあたりご理解賜りたい。

E委員のお話で、対面で会話することの大切さは、私自身もここ最近の出張に行く機会が増えてきた中で実感している。対面の取り組みは今後、オンラインも併用されることでより便利になった形で回復すると思う。様々な団体でこうした対面の取り組みは進めていってほしいと思っている。

定年延長によるデイサービスなどの運転手不足の話があったが、こういった話はいろんなところで伺っている。先ほどの雪対策にも絡んでくるが、若者が減り、働ける方が少ない中で、定年延長で働いてもらうことは人口減少下の宿命だと思うので、少しずつ何十年もかけて調整し、対処療法を積み重ねながらやっていくことになる

と思っている。向こう 30 年ずっと悩み続けていく問題だと思うのでそういった視野で考えていきたい。

福祉事業所のコロナ対策については、なかなか解消は難しいだろうと思う。働いている方は自由が利かず辛い立場だと思うが、数か月単位で状況も変わってくると思うのでギリギリのところを見極めながら進んでほしいと思っている。

外国人労働者の富山へのアクセス問題について、現在、市の公共交通事業の中で最重点として位置付けているのが富山と猪谷と神岡間の路線の JR との接続の部分。名古屋大学の研究員にも加わっていただき、利便性の高いものになりたいと思っているので、こういった問題意識を持って取り組んでいるということをご理解いただきたい。

だいこんマラソンについて、これまでなんとか実行委員会の方で続けていただいていた行事であり、今後も続けていく方向で考えておられると思うので、よく話を聞きながら市としても支援を進めていきたい。

F 委員のお話で、防災士会については人数も増えている中で支部組織も作っていただくなど充実を図っていただいております、色々ご苦勞をおかけしている。この組織は市の防災対策の要だと思っているし、区や職場に防災士が何人かいる体制が取れば劇的に変わってくることだと思うので、今がスタートダッシュの大変な時かと思うが、市でも一生懸命サポートさせていただきながら一緒に取り組んでいきたいと思っているので引き続きよろしくお願い申し上げます。

G 委員のお話で、node の駐車場問題については、町中に作ることは少々難しいが、J A の駐車場の間借りのことは J A とよく相談をしていきたい。

まちづくり団体へのクラウドファンディング支援のハードルが高いことは承知している。小さなまちづくり応援事業を作ったのは、補助金や助成金のハードルを下げる意味も込めていたが、マンネリ化が進み、何か変えないといけないということでクラウドファンディングとしている。ただ、この助成金はどうしてもなくてはいけないものでもなく、逆に助成金なしでできるならそれに越したことはないと思うので、それぞれの団体のあり方を考えてもらいながら活用いただきたいと思っている。社会的処方の話は私も興味があるので、自分でもよく勉強したい。

H 委員のお話で、中小企業庁の小規模事業者持続化補助金については詳細を承知してないので、商工観光部の方で話聞かせていただきながら、連携させていただきたい。経産省の補助金は市町村を経由せずに商工会議所・商工会へいくので自治体は全く知らない状態であるが、広く周知する段階では市も十分に把握しておくことも大切だと思う。今回の経済連合会の勉強会で経産局と初めて連携でき、こうした情報が行き届くよう、資料の展開についても市から話をしていきたいと思っている。コロナ融資の件は先ほど L 委員からご説明があり、我々も金融機関にヒアリングを

する中で同じ認識を持っている。追加融資の話がほとんどないので、手元資金は持っている状態だと思っているが、状況は刻一刻と変化していくので今後も金融機関から状況を聞きながら対策が必要なら打っていきたいと思っている。

プレミアム商品券の余りの活用については、市の担当からまたご相談させていただきたい。ちなみにプレミアム商品券の売上が50%以下だったことに対するとらえ方は我々も議論し、プレミアム率をもっと高ければ買ったという話も聞いた。ただ、私の考えとして、今回のプレミアム商品券は物価高騰分をプレミアム率として支援していくということであったため、この商品券が売れ残るといのは物価高騰に困っていない方が多いのだと判断している。追加発行も考えておらず、国でも様々な低所得者対策が出てきているのでそちらで対応していくことに加え、商店の売上喚起として小規模事業者の支援は現在準備を進めている。

市産品の北陸圏への販路拡大策について、去年はファボーレや富山の駅前物産展を実施している。富山は引き続き重要なところであると位置づけており、どのように販路拡大策を実施していくか検討中である。加えて、コープ岐阜と連携して物産展を実施したが非常に好評であり売り上げもよかった。さらにその後の継続取引につながる事例もあり、そういった部分も重要視していく方針で進めているのでご理解いただきたい。

先般神岡で行われたオクトーバーフェストにも触れていただき、私は別の予定で参加できなかったが、大変好評だったと伺っている。一つの教訓として、以前と同じものを受け継いでいくことも大事なことであるが、同じものをずっと続けるのではなく、新しいことを考えていくことが市民の方々の評価につながるのだというとらえ方をしている。観光協会神岡支部が力を入れて取り組んでいただいたことであり、こうした前向きなチャレンジはこれからも大いに応援していきたいと思っている。

I 委員のお話で、物価高騰に関して円安の影響が出てくるのはお話にあったように来年の春だと思っている。ここについてはヒアリングにより注視していく体制を継続し、物価高騰対策を適切に打っていきたい。

医療費の無料化について、飛騨市はすでに18歳まで無料にしており、今後も継続していきたいと思っている。参考までに申し上げるが、高校生相当の医療費については償還払いとしている。医療機関に行ってお金を払わず帰れるようにしてほしいという声もあるが、高校生に医療費の無料化は税金で賄っているということを知ってもらうための社会教育を兼ねるために、あえてそうしているということをご承知おきいただきたい。

J 委員のお話で、農業についても苦しい部分をヒアリングをしながら随時いろんな対策打っているところである。畜産の部分が厳しい状況になっているので今追加の対策を打ちたいと思っているが、今後も引き続き状況を見ながら対応していきたい。コロナ禍の飲み会に関して、農業に限らず全ての分野に共通することであると思う

が、公式には今人数制限など何の制約もない状態である。ただ、どうしても飲み会を主催する側としてはその場で感染が広がってしまった場合の責任のことなどを考えると遠慮してしまうことがあると思う。一つの解決策としてはまちなか検査センターで事前に検査したうえでマスク会食と換気を徹底していただくことが重要だと思うので、そういったところに気を付けながら懇親を深めていただきたいと思っている。

食と森の祭典における円光寺会場への人の流れの悪さについては市の職員も気づいて試行錯誤していた。来年度にむけて十分配慮していきたい。

K委員のお話で、林業PRのビデオについては良いものにしたいと思うので、森林組合と連携させていただきながら、ご指導もお願いしたい。

移住支援については他からも同様の指摘があり、個人に対する移住施策のPRは徹底しているが企業との連携が取れていない。使いづらいという声も聞いているので、来年度に向け支援策の整理をしながら検討していきたい。

名古屋グランパスの豊田スタジアムでのPRの話があったが、急遽話がまとまり今週土曜日にホームの最終戦に行ってスタジアムでPRさせていただく予定で、今後も継続していきたいと思っている。また、これを機に名古屋グランパスとふるさと納税を通じた連携の強化もあわせて発表させていただく予定。これはK委員に熱心に取り組んでいただいていたことであり、引き続きご指導賜りたい。

L委員のお話で、コロナ融資についてご説明いただき感謝申し上げます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

個人の自己破産に関しては初めて伺った話であり、色々調べる必要があると痛感した。市民福祉部の多重債務等の支援策との連携もあると思うので、さっそく市の担当から状況を聞かせていただきたい。

住むとこネットの空き家価格改正の反映の件は非常に大事な部分だと思うので、価格変動のタイミングなどさっそく点検し、改善したい。

M委員のお話で、コロナによる収入の減少が保険でカバーできていたのは確かだが、今はその部分はほとんどなくなっている。市に直接生活が苦しくなっているという話は入ってきていないが、個人の生活が厳しくなった時の融資や返済免除付きの貸付制度も維持しているのでそちらで対応したい。

引きこもりなどによる社会的孤立について、市では地域生活安心支援センター「ふらっと」にてそういった案件を含め生活に関する相談を引き受けており、そこからさまざまな機関に繋いでいる。お話にあった若者和ポートステーションとも連携が取れると思うのでそこでカバーしていきたいと思う。

サッカー大会の杉崎公園の駐車場問題は先ほど話した通り。

千代の松原について、現在この場所のあり方について検討をしているところで、大

きな課題としては、河川敷のため構造物や大きな遊具が置けないという問題がある。この制約の中で市民の健康づくりや子どもが遊べる場所など色々検討していきたい。

N委員からのお話で、スポーツ学童の遅れについてはこの後教育委員会事務局長に触れていただく。

【野村局長】 スポーツ学童が遅くなった理由について、今年度神岡地区は3年目、古川地区で1年目の実証実験として両地区とも当初は6月頃から開始する予定だった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大でこの事業に必要な送迎サービスを委託していた北都サービスが9月末で撤退となったことに加え、古川地区で契約予定だったニュー飛騨観光と送迎金額の折り合いがつかず、双方の事務調整に時間を費やしてしまったことで11月に遅れてしまった。

【会長】 本日も委員の皆様から様々な立場から多くの意見をいただき感謝申し上げる。市でも把握していない現場の話などもあり、有意義な会になったと思う。私からも防災に関してお話させていただく。飛騨市で防災リーダーの育成にここ数年間取り組まれ、防災士の人数が増えてきた中で防災リーダーの中のリーダーが必要な時期かと思う。清流の国防災減災センターにて、岐阜大学と岐阜県が連携して減災未来塾を実施しており、飛騨市でも1名受けてみえる。色々活動を企画・運営・実行するノウハウを学び実践するようなことを1年間伴走支援するスタイルで実施しており、複数の方に受けていただくことで活動の幅も広がると思うので今後、受講生が増えるといい。自治会などと連携しながら地域防災力の底上げに繋げていきたい。

もう一点私の個人的な仕事の話になるが、私は一般社団法人飛騨高山大学設立基金の理事をしており、先般 Co-innovation University 設置の延伸を発表させていただいた。本来、10月末に文科省の申請をして、2024年設置を目指していたが準備不足で2026年に設立を目指す形となった。こうした情報を市民の方々に提供できていないことは我々理事としても課題に思っており、知っていただく機会を増やしたいと考えている。また、全日制の大学設立部分は延期となってしまうが、社会人の学び直しの部分については前倒しで取り組みを行い、皆さんに学び方の形を示しながら進んでいきたいと思っている。

それでは、協議事項は以上となる。司会を事務局にお返しする。

6. その他

今後のスケジュールについて説明

7. 閉会【湯之下副市長】

本日も委員の皆様には、長時間にわたって、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

現在、私も様々な活動や会合が増えてきており、昨日は美濃加茂市へ行ってきた。古川祭をモチーフとしたパフォーマンスでにっぽんど真ん中まつりで大賞を受賞した半布里という団体が主催した大会に招待され、初めてそういったものを拝見したが非常に感動した。この半布里のチームが 11 月 6 日（日）の午後 2 時より古川小学校のグラウンドでパフォーマンスいただけるそうなので、皆様方もぜひご覧いただきたい。

また、区長会等連絡協議会の研修会があり、抗原定性検査をしたあとに懇親会等にも参加させていただいた。その中で区長の方から様々な困りごとや悩みなどをお聞きし、住民の方も色々考え、思いを持っている中で自分にできることを行動に移して欲しいとお話しさせていただいた。今こういった飲み会の場がなくなり意見交換する機会が減ってしまっていたが、こうした活動が活発になるよう工夫しながら対面の飲み会もできるよう進んでいきたいと思っている。

委員の皆様には、今後ともいろいろなご意見をいただきたい。

それでは本日の会議を終了する。ありがとうございました。